

海洋安全システム科学コース

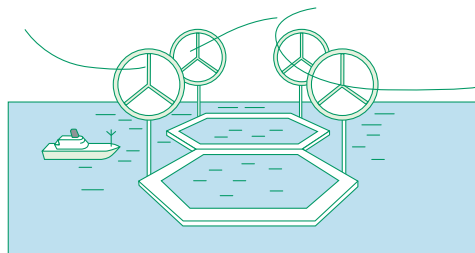
理工学分野の幅広い知識を基礎として、人類の持続的発展に不可欠な地球・海洋環境の保全、海洋の開発と活用及び海事活動に係る安全性の確保に関する教育研究を行う。

本コースの教育研究分野

- ・水環境学
- ・海洋・気象学
- ・海洋安全工学
- ・放射線・粒子ビーム科学
- ・海洋基礎科学

本コースの授業科目（_：英語による授業科目）

- ・国際海事社会学
- ・海洋理工学演習
- ・水環境科学1, 2
- ・水環境保全学1, 2
- ・応用海洋学1, 2
- ・応用気象学1, 2
- ・大気環境科学1, 2
- ・海洋安全工学A1, A2
- ・海洋安全工学B1, B2
- ・放射線応用科学1, 2
- ・核反応応用工学1, 2
- ・量子ビーム科学1, 2
- ・実験認知安全論1, 2
- ・機能性材料科学1, 2
- ・応用数理科学A1, A2
- ・応用数理科学B1, B2



在学生からのメッセージ



加藤 茉莉

海洋ロジスティクス科学領域
(海洋安全システム科学コース)



日本

1. 海事科学研究科を選んだ理由は？

日本で唯一、総合大学として海事科学を専攻できる大学院だからです。海洋に関わる様々な分野の教授が揃い、レベルの高い講義を受け、研究をすることができます。また、国際交流にも力を入れており、日本だけに留まらず幅の広い経験を積むことができると考え入学しました。

2. 入学後の大学院の印象は？

研究に専念できる設備が揃い、講義の選択においても自由度が高いと思いました。学部の時とは違い、講義選択に余裕があるため、より自身の専門性を磨くことができます。また、研究室の環境が整っているため、快適な研究生活を送ることができます。

3. あなたの研究内容について簡単に説明してください。

洋上風力発電の建設を促進するための、日本全国の洋上風況マップの作成を行っています。スーパーコンピュータで数値シミュレーションを行い、日本沿岸域の風速や風向の結果を使用してマップを作成します。主には、その計算設定や観測値との精度検証を行っています。

4. 大学院進学の魅力について教えてください。

専門性を磨きつつ、国際的な活動もすることができます。学部ではできない自身の研究の追求はもちろん、国際学会への参加や大学院生向け海外派遣研修を通して、視野を広げ、国際的に活躍できる人材へと成長することができます。大学院という環境であるからこそ、その両方を高めることができると思います。

5. 卒業後のあなたの進路について教えてください。

大学院卒業後は自身の専門を生かし、新エネルギーに関わる職種・企業で、場所を問わず活躍したいと考えています。具体的には、環境コンサルティングファーム・海洋や気象に関わる研究施設での就職を考えています。大学院で得た専門性や英語能力を生かして、国際的に活躍することを視野に入れ、新エネルギー・再生可能エネルギーの普及に携わりたいと思います。

6. 海事科学研究科の魅力は何ですか？

研究を行うための設備・環境が整っていることが一番の魅力だと思います。キャンパスが海に面していることや船を所有していることで、海洋に関する実験や観測を容易に行えます。また、図書館や博物館があり、研究資料が充実しています。さらに、国際学会への参加や国際交流にも力を入れて取り組んでいるため、英語を学ぶ機会や自身の実力を海外で発揮する機会が十分にありそうです。

7. 海事科学研究科を目指す高校生、大学生へのメッセージ

行きたいと思ったなら、大学院への進学をオススメします。なんとなくではなく、自身でやりたいことを見つけ、研究をしたいという思いを持って大学院へ来ることが大切です。それがなければ、無意味な2年間を過ごすことになります。もし海事科学研究科へ進学したいと思うのであれば、目標に向かいチャレンジしましょう。明確な目標は達成が容易です。同じ分野を学び合える後輩が来るのを、楽しみにしています。

2017年1月現在